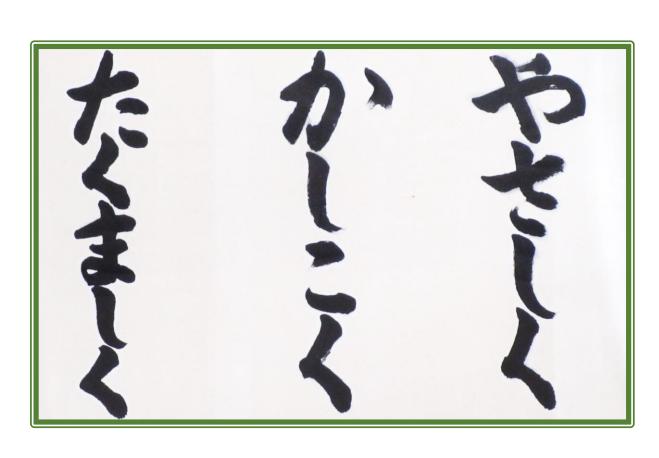
令和6年度 学校教育ビジョン説明会

R6.4.26







新潟市立木山小学校

令和6年度より リニューアル

- よりシンプルで分かりや
- より強みを生かし、学校 課題を解決するために
- ★新しく変わったところを 中小にご説明いたします。

令和6年度 木山小学校 教育ビジョン

~10 年後 20 年後の社会をしなやかに生き抜く力を、保護者・地域の皆さんと共に育みます~。

<数音目標> やさしく かしこく たくましく。

Bおナチともの表 きらきらえがむ やるきいっぱい まいにちげんき な木山っ子。

む資質・能力

主体性・社会性(自律)・自己決定力は



「心」こころ」プロジェクト。

<かかわる力・自主・自律の力>。

(スマイル班活動)・生徒指導・道徳・健康な心身

- 1 重点項目(何を目指すのか) 「自他の心と体を大切にし、思いやりをもっ て主体的にかかわり合う」。
- 2 具体的方策と手立て。
- ・スマイル班活動を継続的に行い、異学年 とかかわる機会を増やす。。
- ・振り返り活動を意図的に設定し、子どもた ちのよい姿を子ども同士・数職員・保護者・ 地域の方々等で伝え合う。。
- ・元気アップ週間の内容を子とも主体で決 定し、年間4回取り組む。

「学 まなび」 プロジェクト。

<自ら考える力・探求する力>。 生活科・総合・授業改善・研究権道・GIGA

- 1 **重点項目** (何を目指すのか) 「自ら課題を見つけ、様々な方法で追究 し表現するし
- 2 具体的方策と手立て。
- ・積極的に地域に出て、木山の魅力をも っと知りたくなる活動を展開する。。
- ・学ぶ内容や方法を, 白乌澤択・判断・決 定していく授業を展開する。。
- ・学習成果を大勢の前で発表する場を多 く設け、子どもの成長の機会を増やす。

基本的生活勞價。 体力向上・食育など。 支持的風土の醸成・特別支援教育。 人権教育・同和教育など。

3 国・赤塚小・赤塚中との。 12 年間の中学校区連携

<赤塚中学校区の目指す子ともの姿>

○目標をもち主体的に原題解決に向かう子とも ○地域から学びともに停びていく子とも ○相手を思いやり搭奏する子とも

学校運受協議会 保護者・地域との連携。

令和6年度 木山小教育ビジョン

〈教育目標〉
やさしくかしこくたくましく

~ 10年後20年後の社会を しなやかに生き抜く力を、 保護者・地域の皆さんと共に育みます ~

令和6年度 木山小教育ビジョン

目指す子どもの姿



令和6年度 木山小教育ビジョン

<育む資質・能力>

主体性•社会性(自律)•自己決定力





心こころプロジェクト

<かかわる力・ 自主・自律の力>

学 まなび プロジェクト

<自ら考える力・ 探求する力>

これまでの6つから2つに整理・統合 〈選択・集中〉



<重点目標>

自他の心と体を大切にし、思いやりをもって主体的にかかわり合う。



- 2 具体的方策と手立て
- ・スマイル班活動を継続的に行い、異学年とかかわる機会を増やす。





- 2 具体的方策と手立て
- ・振り返り活動を意図的に設定し、子どもたちのよい姿を子ども同士・教職員・保護者・地域の方々等で伝え合う。



1年生のクラスの発表会は, どの子もよく声が出ていたね。 ききやすかったよ。 四ツ郷屋 木山 太郎



スマホからも メッセージが届 けられます



- 2 具体的方策と手立て
- ・元気アップ週間の内容を子ども主体で決定し、年間4回取り組む。









3軸となる授業・活動

- ・特別活動(スマイル班活動 縦割り班)
- 生徒指導
- ・道徳
- ・健康な心身



<評価の指標>

- ・児童アンケート「スマイル班活動で、友達や他の学年の子に自分から声を掛けて、協 力して活動した」(高学年:下学年の子に優しく声を掛けたり、相手の気持ちを考えて 活動した。中学年:低学年の子に教えたり、高学年の子に質問したりして活動した。低 学年:班のメンバーにしてほしいことを伝えたり、質問したりして活動した。)の「し た」の回答が60%以上(A)50%以上(B)
- ・児童アンケート「ふり返り活動で、友達のよいところを見つけて伝えることができ た。| の「した| の回答が60%以上(A)50%以上(B)
- ・元気アップ週間でめあての達成率A判定(7日間中5日間めあてを達成する)の児童が 65%以上(A)50%以上(B)



<重点目標>

自ら課題を見つけ、様々な方法で追究し表現する



- 2 具体的方策と手立て
- ・積極的に地域に出て、木山の魅力をもっと知りたくなる 活動を展開する。







2 具体的方策と手立て

・学ぶ内容や方法を、自ら選択・判断・決定していく授業

を展開する。







2 具体的方策と手立て

・学習成果を大勢の前で発表する場を多く設け、子どもの

成長の機会を増やす。







- 3軸となる授業・活動
 - ・生活科・総合的な学習の時間 (教科横断的な学習)
 - ・授業改善・校内の研究推進
 - ・情報活用能力の育成(タブレット端末ネットワーク環境の活用)



<評価の指標>

- ・児童アンケートで「学習の後で,地域のことを知ることができてよかったな、楽しかっ たな.おもしろかったなと思うことがありましたかしの「あてはまる」の回答が50%以上 (A) 40%以上(B)
- ・児童アンケートで「授業で、これなら自分でできそうだという方法を見つけて取り組 むことができましたか。| の「あてはまる| の回答が50%以上(A)40%以上(B)
- ・児童アンケートで「学習したことや考えたことを進んで発表していますか」の「して いる | の回答が50%以上(A)40%以上(B)

プロジェクトを支える土台

基本的生活習慣 体力向上・食育 など

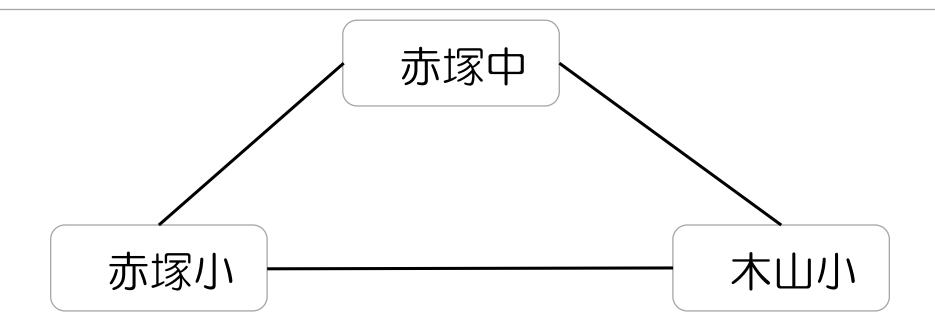
支持的風土の醸成・特別支援教育人権教育・同和教育 など

3園・赤塚小・赤塚中との12年間の中学校区連携

赤塚中学校区連携推進協議会

く赤塚中学校区で目指す子どもの姿>

- 〇目標をもち主体的に課題解決に向かう子ども
- 〇地域から学びともに伸びていく子ども
- 〇相手を思いやり協働する子ども



学校運営協議会 〈年4回開催〉

- ・ 2回は木山小学校(単独開催)
- 2回は赤塚中学校区3校で合同研修会

※第1回は5月29日(水)の予定

連携と協働

ブログ・学校だより・学年だより等による情報発信



随時更新しています。 お気に入りに登録をお願いします。

https://blog.city-niigata.ed.jp/superkiyama/



連携と協働

<学級編制と授業編成>

- ・令和7年度以降は複式学級が2学級に増えることが想定される。
- ・複式学級増=教職員減となる。少ない教職員で授業を行うためには、A/B年度方式で2学年一緒に授業を行うことが必要がある。

【A/B年度方式の例】

令和6年度 3,4年生が 3年「社会」、3年「総合」を一緒に学習

4年「理科」、4年「音楽」、4年「図画工作」、4年「外国語活動」を一緒に学習

令和7年度 3,4年生が 4年「社会」、4年「総合」を一緒に学習

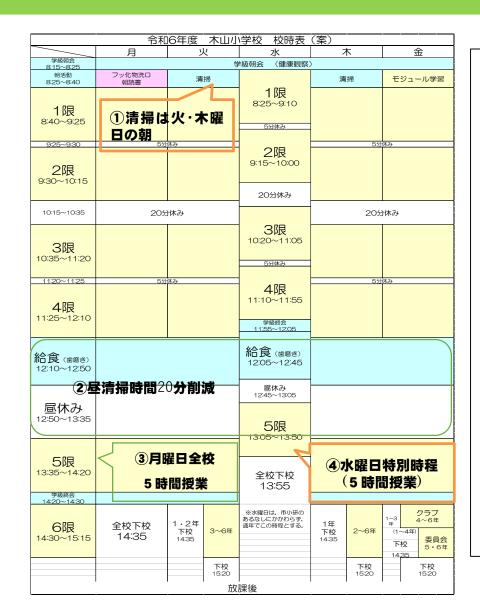
3年「理科」、3年「音楽」、3年「図画工作」、3年「外国語活動」を一緒に学習

※2年間で、3年生と4年生の学習内容を履修するイメージ(3年生が、4年生の学習後に3年生の学習をする教科がある)。



- 一部教科担任制(1人の教職員が複数学年を多教科担当)
- 1人の児童をより多くの教職員の目で見ることができるメリット

その他 (校時表の変更 等)



<校時表変更の目的>

- ①児童のより明るく早い時刻の安心・安全 な下校。
- ②児童が放課後家庭等で過ごしたり、学校 外で活動したりする時間の拡充とゆとりの 創出。
- ③職員の研修時間確保による授業等教育活動の充実と働き方改革。
- ④市小研等の行事に左右されない、年間を 通じた下校時刻の統一。

保護者・地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

<この後の予定>

13:35~14:20 学習参観(5校時)

14:20~14:30 学級終会

14:30~15:00 PTA総会

15:05~15:35 学年懇談会



ご清聴いただきありがとうございました。